

- 集合 A に属する要素の数を $n(A)$ と表すことにする。

(例) $A = \{x \mid x \text{ は } 24 \text{ の約数}\}$ とするとき, $n(A) = \square$

- 和集合の要素の数え方

集合 A, B の和集合 $A \cup B$ の要素の個数について, 次の式が成り立つ。

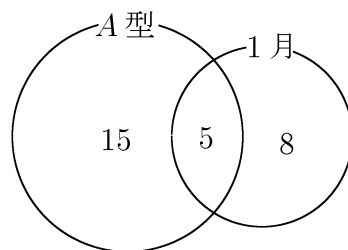
$$n(A \cup B) = \underline{\hspace{10em}}$$

もし, $A \cap B = \phi$ ならば, $n(A \cap B) = \square$ であるから,

$$n(A \cup B) = \underline{\hspace{10em}}$$

となる。

(例題) あるクラスには A 型の人が 20 人, 1 月生まれの人が 13 人, A 型で 1 月生まれの人が 5 人いる。A 型または 1 月生まれの人は何人いるか。



- 3つの集合の共通部分と和集合

(例題) $A = \{2, 4, 6, 8\}$, $B = \{3, 6, 9\}$, $C = \{6, 10\}$ のとき,

$$A \cap B \cap C = \{\underline{\hspace{5em}}\}$$

$$A \cup B \cup C = \{\underline{\hspace{10em}}\}$$

となる。(⇒教科書 p.56 問13)

3つの集合の和集合 $A \cup B \cup C$ の要素の個数について, 次の式が成り立つ。

$$n(A \cup B \cup C) = \underline{\hspace{10em}}$$